

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係 沖縄返還協定調印式(3) (ロジスティックス、警備、プレス、写真)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43566

來往電

こととした。(従って、^{調印式}放送の途中に^{放送が止まる}映像が
 消えるような場合にも、調印の効果は
 何ら影響をあたない)。なお、本件
 調印に^{関係する}関係は、^{条約局}および^{PM1010}
^{貴地}の係官を^{派遣}する^{手配}の²、^{貴館}
 担当者との協力を得て、^{米側}との打ち合
 寄然るべく配慮をあたたい。

3. 直通電話設置
 (瞬間的連絡を確保するため、^{官印}
 外務省・貴館・関係者を結ぶ直通
 電話を設置が必要かある^{ことかある}に
 目下 KDD にも技術的に検討^{中であり}
 詳細については追って報告する。

4. 本件調印式に^{関係する}米側^{の方針}
^{関係する}協定のワーディング等の検討

のため^日米日中の関係者 BEVANS ^日
 11日、式次第に^{関係する}米側の^{大まかな}概
 方を^{聴取}する^{予定}であるが、^{貴地}に
^{調印式会場}
 おいても^{調印式}次第に^{関係する}米側の方
^(相場の BRAY 関係者報道官の赴)
 針等を^{聴取}ありたく、^{調印式}に^{関係する}
^{米側}担当者^(米側窓口)との^{打ち合}結果
 目電ありたい。(なお、^{NHK}
^{関係者}の^{担当}は^{照会}
^{越して}いる^{こと}、^{米側}本内^{事務}関係
^{窓口}との^{打ち合}結果

別電としてに英国に電電伝。

(31)

2

①

態勢が望ましいとの配慮より貴
館と中継（モニター可能）することと
したものであり、この点は仮りに将来
~~総理官邸、国務省向の専用回線が~~
~~設けられた場合には同様の対応を~~
~~前としたいと考えている。~~
 ↓
 したがって、当初計画どおり配線は
配線済み。

(1)

GB-3

外務省

秘

ソカヒ
大臣官房
事務次長
大臣官房審議官
秘書官
電信写

注意（部の内 号）

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

40

総番号(TA) 30218
 71年 6月 15日 23時 13分 米 国 発 着 米 北
 71年 6月 16日 17時 17分 本 省 着 米 北

調査長 参企析調
 参領移 参領移
 参地中東
 参北東西
 参北北保
 参一ニ
 参西東洋
 参西東
 参書近ア
 次総経国資
 参賀統 万
 参政技二
 参国一理
 参参協親
 参政経科
 参軍社専
 参道内外
 参一ニ

外務大臣殿 牛場 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ返かん協定調印式

第1669号 略 大至急
 貴電米北/第1157号3、に関し
 ハヤシ、ホーゲン両事務官は予定どおり到着した。
 (了)

外務省